

ミカサ新ボールの扱いについて

岡山県バレーボール協会中体連部
理事長 菅野秀和

【現 状】

日本中体連バレーボール競技部より、令和元年6月「昨年度末より継続審議していたミカサ新ボールについて来年度の静岡全中より大会使用球として採択。日本中体連も認可の方向で決定する。」という連絡が入りました。そこで6月下旬に中国ブロックに内容を配信し、各県での対応を開始し、本県でも7月に行われた第2回理事会でも提案し、各委員会、各地区の様子を踏まえ、以下のような取り扱いにしました。

「本年度の県大会（中体連主催）は現行ボールを使用する。春中（協会主催）も現行ボールを使用する。ともに予選等の使用球は各地区・支部に一任する」となりました。

【変更の理由】

夏の全中以降、各ブロックや各県から新ボール導入の話題が本格的に出てくる中、メーカーに確認したところ「本年度から製造ラインは新ボールになっており、現行ボールはメーカー及び小売店のストックで賄う状態にしている。ある程度の在庫は確保しているが年度末になると厳しい状態が予想されるであろう」という状況を確認しました。

また、中国バレーボール連盟主催の「中国中学校新人バレーボール大会」では新ボールを試合球として決定しております。

理事会では、あくまで購入側に立ち、本年度1年間を通じて来年度向けに準備してもらうことに重点を置き、前項のように決定しておりましたが、一連の流れを確認する中で「春中の使用球は新ボールにした方がよいのではないか」と、強化委員会を中心に再提案がされました。

実際、現行ボールを試合球にした場合、早めに発注し、在庫を確保しなければなりません。

また、大会賞として贈呈されるボールは来年度より使用することができません。

参加予定チームが、もし大会に向けて新ボールを購入することがあった場合、そのボールは、来年度から大会では使用できなくなるものを、わざわざ購入するという状況も考えられます。

そういう状況の中、第3回理事会にて議論を重ね、「本年度の岡山県春の中学バレーボール大会使用球は男子ミカサ新ボール（V400W）を使用する。また、その大会予選に準ずる大会での使用球は、各地区の判断に委ねる」という内容に変更しました。

年度途中での変更ということで、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

